



<プレスリリース>

2024年10月21日
一般社団法人キネコ・フィルム

街が映画館になる！子どもたちの国際映画祭「第31回 キネコ国際映画祭」

10月31日（木）～11月5日（火）二子玉川にて開催

いよいよ開幕まで約2週間！2年ぶりに熱気球が復活／
ワークショップ／おすすめ上映作品などプログラム詳細続報！



一般社団法人キネコ・フィルム（東京都渋谷区、代表 椎名 保）は、10月31日（木）～11月5日（火）に「第31回 キネコ国際映画祭」を開催します。期間中、二子玉川ライズや玉川高島屋S・C、二子玉川公園などを中心とした二子玉川一帯がキネコ国際映画祭で盛りあがります。1992年から毎年開催している「キネコ国際映画祭」は、子どもから大人まで楽しめる国際映画祭です。第31回目のテーマは「PLAY and PRAY for peace ～せかいからあらそいがなくなりますように～」。海外から多くの映画監督・関係者が集い、世界中から集められた映画を子どもたちの年齢に合わせたプログラムで上映する当映画祭は、今年も映画を通じて未来を願う作品上映、生吹替えによる“ライブ・シネマ”や多様なワークショップなど、親子で楽しめる企画を盛りだくさんにご用意しています。

今回は、会期を間近に控え、まだこれまでのプレスリリースで紹介できていない各種プログラムの詳細続報となります。2年ぶりに復活して実施される熱気球搭乗体験や、アードマン・アニメーションズ監督によるペットワークショップをはじめとする様々なワークショップ情報、ウクライナから映画監督のキラ・メルニチュックさんの登壇プログラム、パラアートチームとの取り組み、そしてボランティアとして参加される著名人の方々からおすすめの映画を紹介していただきます。引き続き今年で31回目となる「キネコ国際映画祭に、ぜひご注目ください。



●キネコ国際映画祭名物、熱気球が復活！

今年も、第28回(2022年)以来、2年ぶりに二子玉川公園での熱気球搭乗体験が帰ってきます！キネコは世界の映画祭をめぐり、子どもたちに喜んでもらえる映画をたくさん集めてきました。熱気球は本映画祭のシンボルのひとつであり、大空の旅は、子どもたちをファンタジーの世界に誘ってくれることでしょう。

毎回、整理券がすぐに完売してしまうほど大人気の本イベント。熱気球は風の影響を受けやすく、天候次第では飛べなくなることもあります。できるだけお待ちいただいている間も楽しんでいただけるよう、工夫を鋭意検討中です。ぶかぶか浮かぶ熱気球から二子玉川の広大な美しい景色と、光にキラキラと照らされる川を眺めながら、親子やご友人と一緒に会話や夢を大いに膨らませてください。



場所：二子玉川公演子ども広場

期間：11月2日(土)～4日(月・休)

午前の部 6時30分～9時30分／午後の部 16時30分～19時30分

チケット：大人 3,000円／子ども 2,000円(予約制)

※キネコ国際映画祭公式サイトで10月24日(木)10時00分より受付開始

※搭乗のルールなどの注意事項は、公式サイトでご確認ください。

●創造の世界に飛び込もう～ワークショップ体験～

※本リリースに掲載していない魅力的なワークショップが他にもございます！公式サイトを御覧ください。

・アードマン・アニメーションズの監督によるパペットワークショップ

「スター・ウォーズ」のアニメ・アンソロジー『スター・ウォーズ：ビジョンズ』や「ウォレスとグルミット」シリーズの短編『The Great Sofa Caper』など、多くのストップモーションを手掛けてきたマグダレナ・オシンスカ監督をお招きし、パペットアニメーション制作ワークショップを開催いたします。ポーランド出身で、イギリスを代表する世界的クレイアニメ制作スタジオ「アードマン・アニメーションズ」で10年以上携わってきた新進気鋭のアニメーション監督による、またとない貴重な機会。ぜひご参加ください。



場所：二子玉川ライズ低層棟 M1階 集会所

期間：11月2日(土)、4日(月・休)

チケット：無料(予約制)

※お申し込みや対象年齢などの詳細確認は、公式サイトをご確認ください。



・オリジナルキネコに変身しよう！

キネコのパパ、絵本作家の立本倫子さん監修によるワークショップ。色々な物を使って、思い思いのキネコを作ってみませんか？二子玉川にどんなキネコが出現するか楽しみです。



場所：二子玉川ライズ 中央広場 ワークショップブース

期間：11月2日（土）、3日（日）

チケット：500円

※お申し込みや対象年齢などの詳細確認は、公式サイトをご確認ください。
事前予約制。

・オリジナル MANEKINEKO を作ろう！

京都の伝統工芸である「京陶人形」を製作している土田人形さんによる色付けワークショップ！かわいい MANEKINEKO に、思い思いの色をぬって世界に一つだけのオリジナル MANEKINEKO を作りましょう。



場所：二子玉川ライズ 中央広場 ワークショップブース

期間：11月2日（土）～4日（月・休）

チケット：1,500円（予約制）

※お申し込みや対象年齢などの詳細確認は、公式サイトをご確認ください。

●研究!地球エネルギー体験！

多摩川では、定期的な維持管理として、堤防の草刈りや河川敷の樹木を伐採しています。これらの刈草や伐木は、これまでゴミとして焼却処分されてきましたが、多摩川で活動する河川協力団体(河川財団)が「刈草ペレット」や「薪」として燃料などのエコなエネルギーとして消費できる取組みを行っています。

この体験イベントは、ストーブの展示・実演やクッキングなどを通して、川の維持管理やそこから生まれる自然エネルギーの利活用を考えます。

さらに、ソーラーパネルなど、さまざまな自然のリソースを活用したオフグリッド製品の展示や、親子で楽しめるクリエイティブなワークショップも開催。自然のチカラを楽しく、もっと身近に。親子で遊びながら学べるサステナブルな体験イベントです。



場所：多摩川河川敷（二子玉川公園前）

期間：11月2日（土）～4日（月・休）

企画・運営：株式会社 TOKYO HITCH

協力：公益財団法人 河川財団



●ウクライナから来日！キラ・メルニチュックさん（17歳）の登壇プログラム

ウクライナから映画監督のキラ・メルニチュックさんが、戦争開始直後から撮影された作品『失われたもの』をもって来日します。

キラさんは11月2日(土)16:00～「T2 上映会（ティーンズ短編②）」、11月4日（月）開催「PTA 短編上映会」にて「失われたもの」上映と舞台挨拶に登場。



場所／日時：109 シネマズシアター 2 (11月2日 16:00～)

109 シネマズシアター 1 (11月4日 10:00～)

チケット：子ども 700 円、大人 1,000 円

※お申し込みや対象年齢などの詳細確認は、公式サイトをご確認ください。

●キネコ国際映画祭×二子玉川エクセルホテル東急コラボレーション企画！

期間中、二子玉川東急ホテルではコラボレーション企画「キネコわくわくツアープラン」「コラボレーションプレート」(KIDS PLATE) を実施。

家族で楽しめる宿泊プランは販売中、特別メニューのプレートは10月31日（木）から販売開始予定です。

詳細は二子玉川エクセルホテル東急ホームページをご確認ください。

<https://www.tokyuhotels.co.jp/futako-e/information/122048/index.html>



●キネコ国際映画祭のクラウドファンディング、10月29日（火）まで挑戦中です！

今年からキネコ・サポーターと一緒に映画祭を育てていただく仲間をクラウドファンディングで募集しています。キネコ国際映画祭ならではのリターンは注目度大！ぜひご参加ください。

詳細は公式ホームページをご確認ください。

https://www.makuake.com/project/kineko_filmfes/

●おすすめ上映映画

またキネコ国際映画祭は多くのボランティアに支えられており、今年も芸能界から、この映画祭に共感していただいた方々のボランティア参加が決定しました。ジェネラル・ディレクターに戸田恵子さん（2008年より参加／16回目）、エグゼクティブ・ディレクターに中山秀征さん（2011年より参加／13回目）と高橋克典さん（2016年から6回目）、そしてチーフ・プログラミング・ディレクターには横山だいすけさんが初就任（2018年より参加／6回目）。またスペシャル・サポーターには井ノ原快彦さん（2017年から／7回目）桂宮治さん（2023年より参加／2回目）、迫田孝也さん（初参加）が就任します。

そこで、今回上映される作品の中から、各ゲストの方々がおすすめする映画を一部ご紹介いたします。



【ジェネラル・ディレクター 戸田恵子さん】

世界各国の映画祭で多数の賞を受賞している『ココ・ファーム~やさしい農場~』。子どもたちが文明の利器を駆使し、周りの大人も巻き込んで旧体制を打ち破っていく姿を通して、これからの未来へ希望が持てるような作品です。社会が抱える問題を丁寧に掬い上げ、子どもから大人まで楽しめる多彩なケベック映画をお楽しみください。



=====

ココ・ファーム~やさしい農場~

監督: セバスチャン・ガニエ (ケベック-カナダ/89分/2023) 翻訳: モドリュウ 克枝

© 2023 - 13904571 CANADA INC.

【エグゼクティブ・ディレクター 高橋克典さん】

オススメは、異国の地で奮闘する移民の母子家庭の親子を描いたメキシコ映画『先生に獣医さん、宇宙飛行士』。学校に行けることや好きなものが食べられること、暮らす家があること…私たちにとって当たり前のように思える日常が、決して当たり前ではないことに気づかされる映画で、親として共感する部分も多々ありました。「コーヒーの淹れ方」で見せる演出にも目を見張りました。



=====

先生に獣医さん、宇宙飛行士

監督: レイナルド・エスコート (メキシコ/71分/2024) (Mexico / 71min / 2024)

翻訳: 滝本 安里

【スペシャル・サポーター 桂宮治さん】

夏休みの終わり、中国の村に住む少年が都会で体験する何気なくも一生忘れられないであろう短い思い出を繊細に描いた『A Summer End's Poem』にご注目いただきたく思います。彼の住む緑豊かな村と無機質な都会の対比、その中でも普遍的な人の優しさや表情をお楽しみください。



=====

A Summer End's Poem

監督: ラン・サンジャオ (中国=スイス=マレーシア/15分/2024) 翻訳: 前川 麻里子

【スペシャル・サポーター 迫田孝也さん】

私が興味を惹かれた映画は「小学校~それは小さな社会~」です。その中である先生がおっしゃられた「時代に合わない人間になっている」という言葉に深く考えさせられました。みなさんそれぞれ、小学生時代の思い出をお持ちですよ。この映画はそんな思い出を通して、今の自分を見つめ直す良いきっかけを作ってくれました。



=====

小学校~それは小さな社会~

監督: 山崎 エマ (日本=アメリカ=フィンランド=スイス/99分/2023)



Director: Ema Ryan Yamazaki (Japan/USA/Finland/Switzerland / 99min /2023) © CINERIC CREATIVE

●『花束』舞台挨拶

サヘル・ローズ初監督作品『花束』。11月2日(土)・3日(日)にサヘル・ローズ監督をはじめ、キャスト・スタッフによる上映前舞台挨拶を予定しています。

※登壇者は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

※舞台挨拶は各回上映前15分間の予定です。



◇11月2日(土) 17:15～@109 シネマズ・シアター1

登壇者:サヘル・ローズ監督、SUGIZO、(出演者)吉住海斗・松嶋マジアル

◇11月3日(日) 13:50～@109 シネマズ・シアター2

登壇者:サヘル・ローズ監督、岩井俊二、SUGIZO、(出演者)黄佳琳・吉住海斗・松嶋マジアル

チケット: 子ども 700円、大人 1200円

※お申し込みや対象年齢などの詳細確認は、公式サイトをご確認ください。

=====

『花束』

監督: サヘル・ローズ (日本/94分/2024)

Director: Sahel Rosa (Japan / 94min /2024)

『花束』公式 HP: <https://hanataba-project.com/>



【参考～「第31回 キネコ国際映画祭」について～】

■ 「PLAY&PRAY FOR PEACE～せいかいからあらそいがなくなりますように～」

31回目のテーマは「PLAY&PRAY FOR PEACE～せいかいからあらそいがなくなりますように～」。

キネコ国際映画祭アートディレクター・森本千絵さんと、マスコットキャラクター「キネコ」の生みの親・絵本作家の立本倫子さんに、このテーマに合わせてメインビジュアルを作成いただきました。

■ 楽しくワクワクする映画から社会問題に気づく映画まで子どもから大人まで学べる映画体験を提供

キネコ国際映画祭では、楽しくワクワクする映画はもちろん、楽しさだけではない色々な感情を体験できる映画をセレクトします。子どもだけではなく大人も学びがある、そんな映画体験をご提供します。

コンペティション上映

今回のコンペティション上映では、全世界23カ国から60作品をご用意。0歳から12歳を対象とした幅広いテーマ作品が揃いました。また“多感な時期にさまざまな価値観に触れ、これからの人生のヒントを見つける”をコンセプトに、ティーンズに向けたプログラムも、幅広く子どもたちに楽しめる作品をご用意しています。本映画祭では、海外の映画を上映する際、スクリーン横で声優たちが生吹き替えを行う“ライブ・シネマ”プログラムを一部作品で実施。字幕が読めない子どもたちも安心して映画が楽しめる人気企画です。

今年度は、過去最多の日本映画に加え、例年以上にアジア作品も数多く上映。新設のドキュメンタリー部門では、大人と子どもが一緒に楽しめる教育的な作品も充実しています。

チケット販売：10月24日（木）からキネコ国際映画祭ホームページにてWEB販売スタート
一般 1,200円／子ども 700円

【ウクライナ在住の映画監督・キラ・メルニチュックさん（17才）来日】

ウクライナから映画監督のキラ・メルニチュックさんが、戦争開始直後から撮影された『失われたもの』とともに来日します。

■ 街中で“親子で一緒に学べる”をテーマとしたイベントやワークショップを開催

“親子で一緒に学べる”をテーマに、芸術の第一線で活躍する講師陣によるワークショップや、親子で楽しめる体験イベントが期間中に展開されます。チェコセンター東京、チェコ政府観光局とのコラボレーションにより「チェコフェスティバル」も開催します。子どもから大人まで楽しめる国際文化交流の場も、キネコ国際映画祭はご用意します。

■ 映画館に足を運べない子どもたちにも映画を

映画館に行くことが難しい入院中の子ども達にも、オンライン上で映画鑑賞できる試み「ホスピタルプロジェクト」を実施。キネコ国際映画祭は、さまざまな環境の子どもたちへの映画の体験機会提供も目指しています。

場所：国立成育医療研究センター

期間：10月31日（木）～11月5日（火）オンライン配信

11月8日（金）～11月30日（土）アーカイブ配信





■ キネコ国際映画祭について

毎年開催される日本最大規模の子ども国際映画祭。世界の三大映画祭の一つに数えられるベルリン国際映画祭（ドイツ）の児童映画部門「Kinder・フィルムフェスト・ベルリン」の協力を得て、1992年に創設。ティーンズ審査員を含む約20人の「キネコ審査員」によって、海外作品部門の最優秀作品賞（グランプリ）が選定されるのが特徴です。一方日本作品部門において、世界の子ども映画祭のディレクターや専門家の国際特別審査員がグランプリを決定します。

期間中、楽しくてワクワクする映画はもちろん、楽しさだけではなく多様な感情を体験する映画も上映することで、子どもだけでなく大人にも、社会問題の気づきなど学びがある映画体験を提供しています。

また、各所で映画を楽しむたくさんのコンテンツを実施。本格的なホールから野外上映、街中のカフェや公園など、街のあちこちで、多くの企業や地域団体のみなさまと、親子で一緒に学べる多様なイベントやワークショップを開催しています。

*スケジュール内容については、変更になることもございますので、ご了承ください。

詳細については <https://kineko.jp/> を御確認ください。

公式 HP <https://kineko.jp/>

公式 FB <https://www.facebook.com/tokyokinderfilm>

公式 IG https://www.instagram.com/kineko_filmfes/

